

平成 29 年 8 月 25 日

各位

会 社 名 株 式 会 社 グ リ ー ン ズ
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 松 井 清
(コード 6547 東証第二部・名証第二部)
問 合 せ 先 取 締 役 管 理 本 部 長 伊 藤 浩 也
(TEL. 059-351-5593)

中期経営計画に関するお知らせ

当社は、平成 30 年 6 月期を初年度とする 3 ヶ年の「中期経営計画」を策定いたしましたので、お知らせいたします。

記

この度決定した中期経営計画は、株式の上場により社会の公器としてのステージに移行したことにより、持続的な成長を達成し、また社会・地域・株主の皆様・従業員への更なる利益還元を行うこととし、「グリーンズ企業目的・理念・ビジョンの実現を目指す」「持続的な成長と中長期的な企業価値、株主価値の最大化を目指す」「全てのステークホルダーとともに経営を推進し、社会の公器としての責任を果たす」を基本方針として掲げるものであります。

詳細につきましては、添付資料をご参照ください。

なお、平成 29 年 6 月期の業績及び平成 30 年 6 月期の業績予想等につきましては、平成 29 年 8 月 7 日公表の「平成 29 年 6 月期 決算短信」をご参照ください。

※本資料には、当社の将来における売上高・利益等の業績に関わる計画や見通しが含まれております。これらは、当社が現時点で把握、入手可能な情報からの判断および想定に基づく見通しを前提としており、実際の業績等は大きく異なる場合があることを予めご了承ください。

以上

株式会社グリーンズ 中期経営計画 (2018年6月期～2020年6月期)

2017年8月25日 公表

目次

1. グリーンスビジョン

2. 中期経営計画の基本方針

3. 事業環境変化に対応するNEXT STEP

4. 成長イメージ

5. 業績目標

6. 財務指標

7. 出店計画

8. 事業別の出店戦略

9. 事業強化戦略

10. 株主還元

1 グリーンスビジョン

グリーンズは、*Performance*、*Satisfaction*、*Reliability*の観点から、ブランド価値の最大化を図り、確かな収益・財務体質のもと、成長を追求します

Performance

高い競争力を有するグローバルブランドホテルを中心とした
国内有数の中間料金帯のホテルチェーン



Satisfaction

高い顧客満足度と従業員満足度を
実現した企業

Reliability

高い信頼性を誇る専門の中間料金帯
ホテルオペレーター

2 中期経営計画の基本方針

株式の上場により、社会の公器としてのステージに移行し、持続的な成長を達成し、社会・地域・株主・従業員への更なる利益還元を行っていきます

新たなステージで更なる成長を目指す

- グリーنز企業目的・理念・ビジョンの実現を目指す
- 持続的な成長と中長期的な企業価値、株主価値の最大化を目指す
- 全てのステークホルダーとともに経営を推進し、社会の公器としての責任を果たす

3 ホテル事業環境の変化へのNext Step

安定した日本国内の需要と、高成長が続くインバウンド需要により、ホテル事業は中長期的に良好な環境であると期待されます。

日本国内マーケット

安定した国内需要とチェーン化の進展

長期的には人口減少の影響が想定される一方、1人あたりの旅行泊数は漸増傾向にあり、当面は安定的な需要を見込むことができる

柔軟性、スピード、経済合理性を兼ね備えた出店スキームの追及

インバウンドマーケット

高成長とともに多様化するホテルニーズ

一時的なリスク要因は常にあるが、成長余地は大きく継続的に拡大する需要を見込むことができる

成長市場の顧客を獲得する
新たなホテル商品の投入

4 成長イメージ

主要顧客である国内ビジネス客をベースに、国内観光需要とオリンピック後も増加が見込まれる個人旅行を中心とするインバウンド需要を取り込み、さらなる業績拡大を目指します。



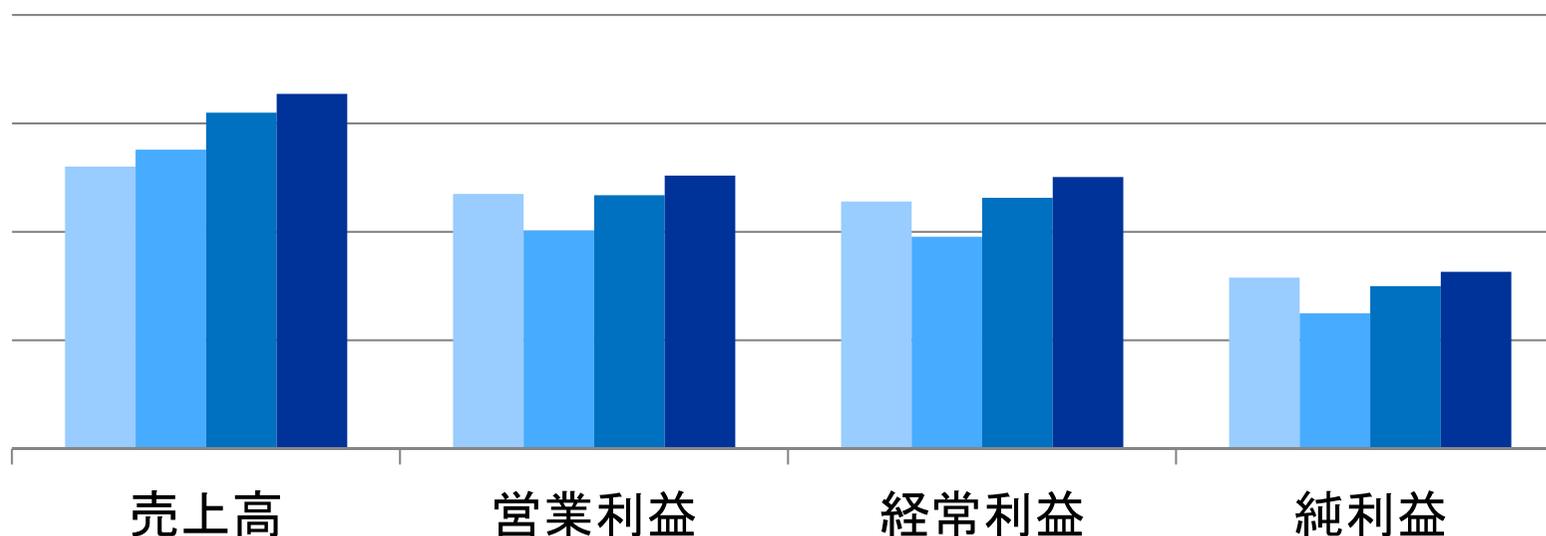
5 業績目標

2018年6月期は売上高275億円、営業利益20億円の見通しとなり、2020年6月期には売上高320億円以上、営業利益25億円以上を目指します。

単位:百万円

	2017年6月期	2018年6月期 予想	2019年6月期 予想	2020年6月期 予想
売上高	26,014	27,588	30,000	32,000
営業利益	2,287	2,013	2,300	2,500
経常利益	2,237	1,955	2,300	2,500
純利益	1,427	1,249	1,500	1,600

■ 2017/06
■ 2018/06
■ 2019/06
■ 2020/06



6 財務指標

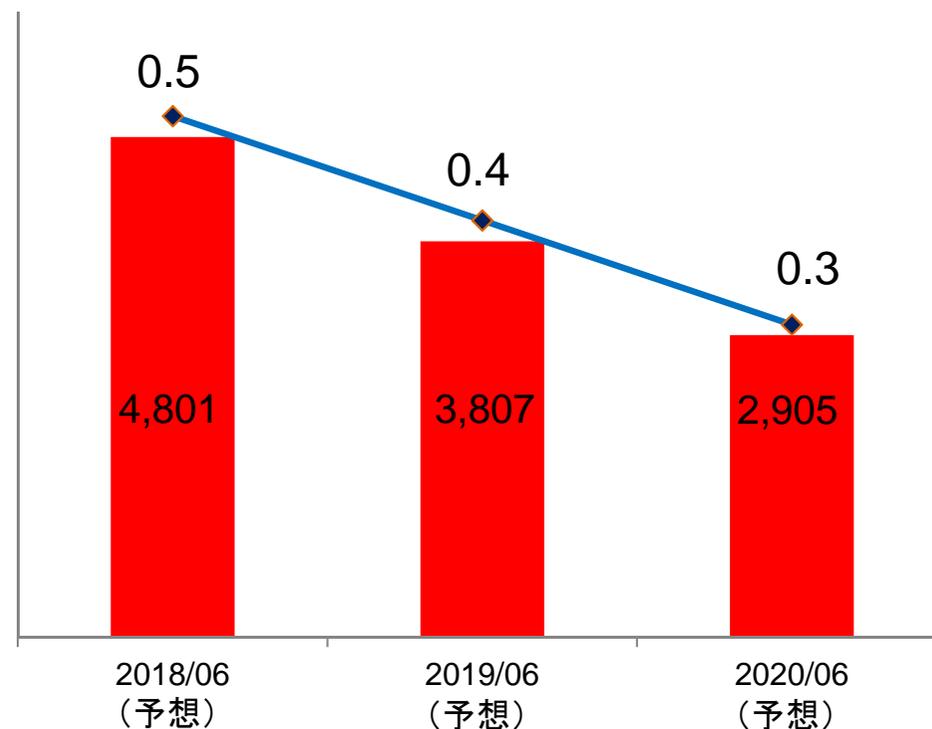
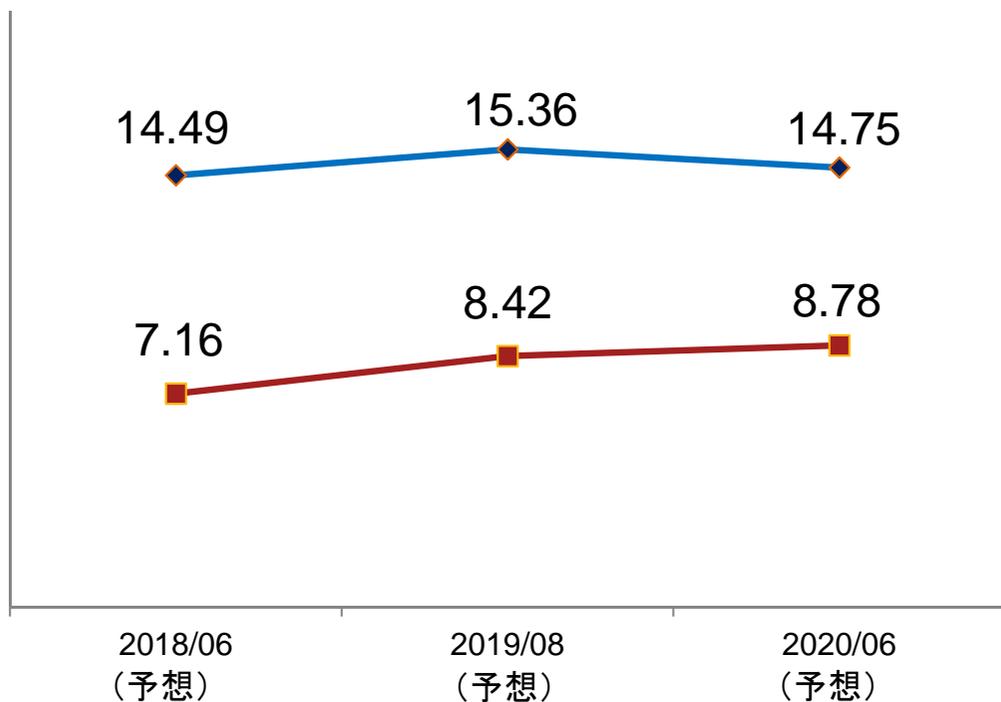
株式公開による自己資本の強化に加え、健全な財務体質を維持しつつ、効率性と健全性のバランスに配慮した財務活動を行います。

ROE目標 14.50%以上
ROA目標 8.50%以上

D/Eレシオ 0.5倍以下

◆ ROE(%) ■ ROA(%)

■ 有利子負債(百万円) ◆ D/Eレシオ(倍)



7 出店計画

当社の成長ドライバーである新規出店については年3～5店舗を実現し、2020年6月期には100店舗以上を目指します。

今後の出店予定(確定分)

	名称	開業時期
2018年6月期	<ul style="list-style-type: none">・コンフォートホテル名古屋伏見・コンフォートスイーツ東京ベイ・コンフォートホテル札幌すすきの・コンフォートホテル伊勢	2018年2月 2018年3月 2018年6月 2018年7月
2019年6月期	<ul style="list-style-type: none">・コンフォートホテル神戸三宮・コンフォートホテル宮崎・コンフォートホテル高知・コンフォートホテル新大阪	2018年秋頃 2018年秋頃 2018年秋頃 2019年春頃



コンフォートスイーツ東京ベイ



コンフォートホテル名古屋伏見



コンフォートホテル伊勢



コンフォートホテル神戸三宮

8 事業別の出店戦略



チョイスホテルズ事業

マルチブランド展開による成長を目指す

ブランド	 <p>既存の客室よりも大きめの客室</p>  <p>快適性を志向したスイートタイプの新ブランド</p>  <p>コンフォートホテル基準と異なる物件をリブランドする出店を検討</p>
スキーム	<ul style="list-style-type: none">• 新築物件の賃貸借・運営受託が軸

GREENS HOTELS グリーンスホテルズ事業

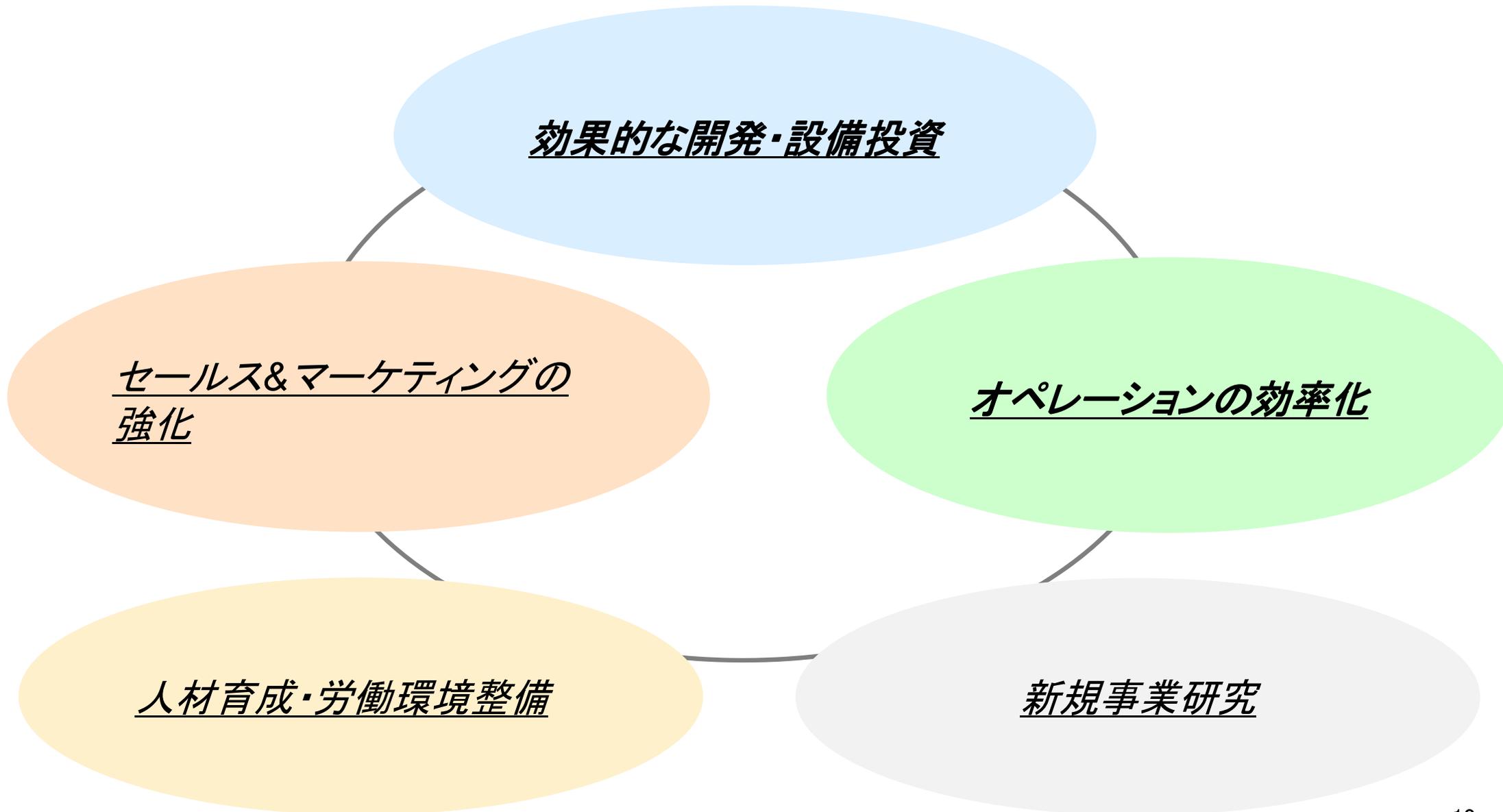
M & A、事業譲受等の多様なスキームにより出店を推進

ブランド	<ul style="list-style-type: none">• ノンブランド• 名称変更を伴わない運営参入
スキーム	<ul style="list-style-type: none">• 賃貸借・運営受託によるオペレーターチェンジ中心• コンフォートホテル基準と異なる物件の運営

安定市場でシェアアップ
成長市場の顧客獲得

9 事業強化戦略

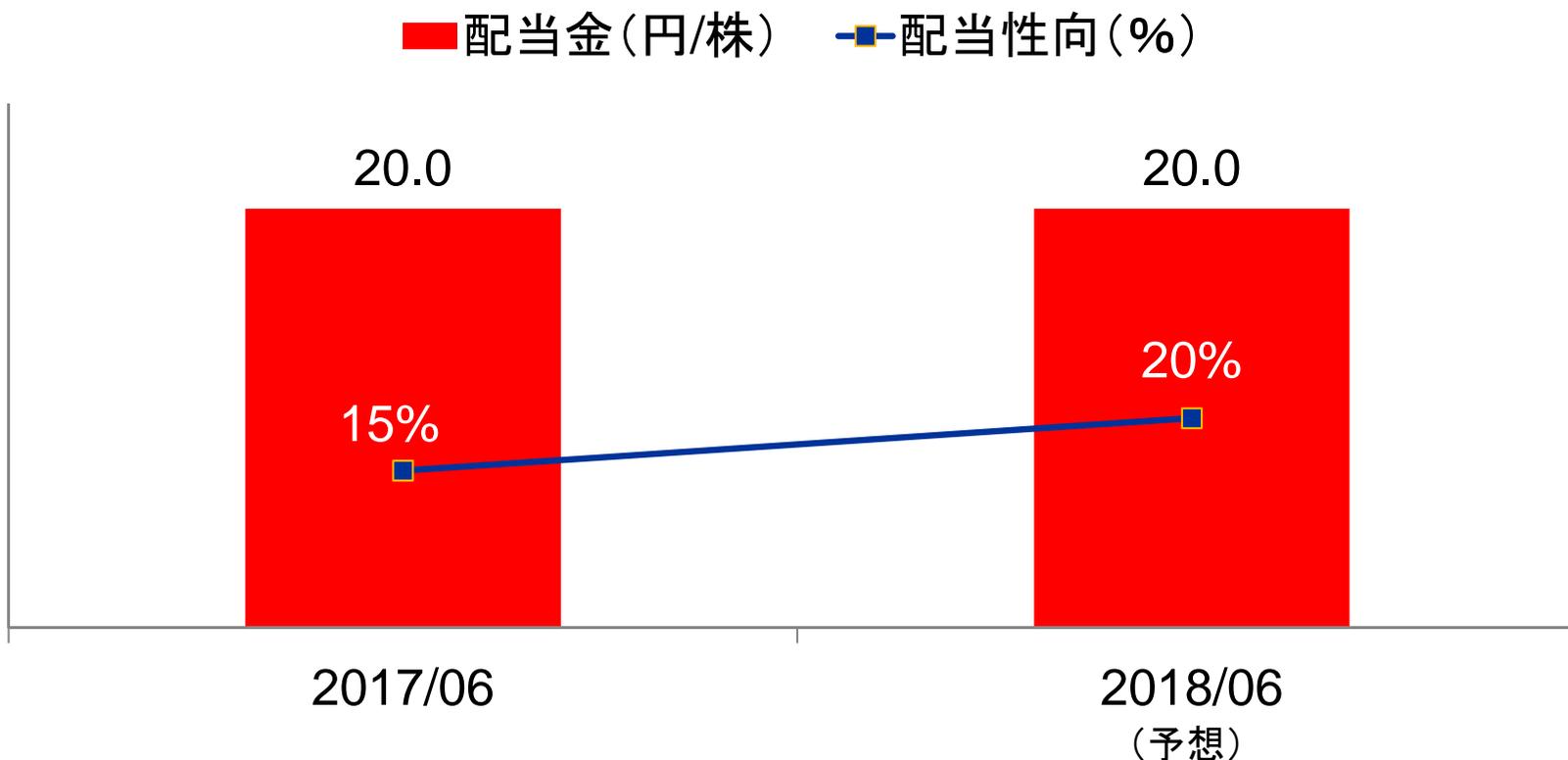
事業を構成するハード・ソフト・ヒューマンリソースの要素において、効果的な投資や新たな取り組みを実施し、既存のビジネスモデルを改良するとともに、新たな事業領域の検討も行います



10 株主還元

当社の配当については、単年業績、配当性向、ROE、ROA等を総合的に勘案して、安定的な経営基盤の確立と業績の向上による安定した配当の継続を基本方針としております。

1株当たり20円の継続配当を実施予定



免責事項

本資料は、当社の業績および今後の経営戦略に関する情報提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券ならびに当社商品への募集・勧誘・営業等を目的としたものではありません。また、注記を行っている場合を除き、2017年6月30日現在のデータに基づいて作成しております。なお、当資料に掲載された計画・見通し等は、作成時点での当社が把握し入手可能な情報からの判断および想定に基づくものであり、経営環境の変動等により今後変更される可能性があり、実際の業績等は大きく異なる場合がありますことを予めご了承ください。

■お問い合わせ先

株式会社グリーンス 総務部

電話：059-351-5593

E-mail：greens-info@greens.co.jp